

## 第1回中野区子ども・子育て会議(第5期) 議事録

### 【日時】

2021年12月22日(水) 18時30分～20時00分

### 【場所】

区役所 7階 第9・10会議室

### 【出席者】

#### (1)出席委員 14名

寺田会長、和泉副会長、阿部委員、萩原委員、加賀谷委員、大門委員、永田委員、三次委員、岡見委員、中村委員、上村委員、大橋委員、角田委員、丸茂委員

#### (2)事務局 15名

子ども教育部長

子ども家庭支援担当部長

子ども教育部課長 8名

地域支えあい推進部課長 2名

子ども・教育政策課企画財政係 2名

子ども・教育政策課子ども政策調整係 1名

### 【会議次第】

1 開会

2 議題

(1)中野区子ども・子育て会議について

(2)中野区子ども・子育て支援事業計画(第2期)中間の見直しについて

・検討用基礎資料について

・第5期中野区子ども・子育て会議スケジュール(令和3年度から令和4年度)について

3 その他

4 閉会

### 【配付資料】

資料1 中野区子ども・子育て会議について

資料2-1 中野区子ども・子育て支援事業計画(第2期)中間の見直しについて

資料2-2 検討用基礎資料

資料2-3 第5期中野区子ども・子育て会議スケジュール(令和3年度から令和4年度)

【参考資料】 中野区子ども・子育て支援事業計画(第2期) ※新規委員のみ配布

【参考資料】 中野区基本計画(抜粋)

【参考資料】 中野区フェイスブックページのご案内

午後6時30分開会

#### 事務局(子ども政策担当課長)

第5期第1期中野区子ども・子育て会議を始めさせていただきます。私は子ども教育部子ども政策担当課長の青木と申します。本日は第1回の会議ということで、会長が選任されるまでの間、司会を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。本日は、次第にございますとおり、委嘱式の後、会議の方に入らせていただきたいと思います。早速ではございますが、第5期中野区子ども・子育て会議の委嘱式を始めさせていただきます。区長から委嘱状を順番にお渡しいたしますので、私が名前を呼びましたら、席でご起立いただくようお願いします。

#### 《委嘱式》

皆さんありがとうございました。なお、本日、関委員は欠席となります。

続きまして、委員の委嘱に当たりまして区長よりご挨拶の方申し上げます。

#### 《区長挨拶》

#### 事務局(子ども政策担当課長)

ありがとうございました。区長につきましては、公務のためここで退席させていただきます。

それでは引き続きまして、会議の方に移らせていただきます。本日は、15名中14名の方にご参加いただいております。委員の半数を超えておりますので、中野区子ども・子育て会議条例第5条に基づき、会議は有効に成立しております。なお、議事録作成のため、会議の内容を録音させていただきます。議事録は中野区ホームページにて公開いたします。議事録には発言者の氏名を記載させていただきますので、ご了承ください。

早速ですが、お手元の次第に沿って議事を進めさせていただきます。今期第1回の会議となりますので、議事に先立ち、委員の皆様の自己紹介をお願いしたいと思います。恐れ入りますが、お配りしております名簿の順番に、所属とお名前等をお1人当たり1分程度で自己紹介をお願いいたします。

#### 《委員自己紹介》

### 事務局(子ども政策担当課長)

それでは次に、事務局側の紹介をさせていただきます。

《事務局自己紹介》

### 事務局(子ども政策担当課長)

続きまして、会長、副会長の選任に移らせていただきたいと思います。会長、副会長は、学識経験者の委員のうちから選出することとなっております。初回で選出も難しいと思いますので、事務局からご推薦の方をさせていただいてもよろしいでしょうか。

《異議なし》

ありがとうございます。それでは第4期についても会長を務めていただきました、寺田委員を引き続き会長としてご推薦させていただきたいと存じますがいかがでしょうか。

《異議なし》

### 事務局(子ども政策担当課長)

それでは寺田委員に会長をお願いしたいと思います。

それでは、これからの会議の進行は寺田会長をお願いしたいと思います。まず、寺田会長の方からご挨拶いただけますでしょうか。

### 寺田会長

ただいまご紹介に預かりました寺田でございます。今期も、皆様のご意見が反映できるように、そして、より良い子ども・子育て会議が展開されるように、尽力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、副会長の選出でございますが、私の方から、和泉委員をご推薦させていただいてもよろしいでしょうか。

《異議なし》

ご了承いただきましたので、副会長を和泉委員をお願いいたします。和泉副会長からご挨拶をお願いいたします。

### 和泉副会長

ただいまご推薦いただきました和泉でございます。会長を補佐しながら、この会議の円滑な運営に努めて参りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

### 寺田会長

ありがとうございました。

それでは早速ですが、第1回会議の議題に移りたいと思っております。

議題 1「中野区子ども・子育て会議について」事務局からご説明をお願いいたします。

**事務局(子ども政策担当課長)**

《資料1について説明》

**寺田会長**

ありがとうございました。

ただいまの議題について、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

丸茂委員お願いします。

**丸茂委員**

ありがとうございます。質問ですが、委員の人数 15 名で、区民委員が 3 名とありますけれども、これは区民は公募だと思うのですが、子どもの立場で応募があったかどうかを知りたいなと思いました。

**事務局(子ども政策担当課長)**

第 5 期の子ども・子育て会議委員を委嘱するに当たりまして、公募という形で、委員の募集をして、今回 3 名の方にご参加いただいているところです。応募の段階で子どもの方からの応募というのはなかったという状況です。

**寺田会長**

今の質問に補足させていただくと、応募をするときに、お子さんも対象で大丈夫ですというような案内はあったという認識でよろしいですか。

**事務局(子ども政策担当課長)**

特に年齢制限は設けておりませんので、どなたでもご参加いただけるという状況ではございます。

**寺田会長**

ありがとうございます。子ども・子育て会議ではなくて、他の中野区が開催している委員会の中で、お子さんというか高校生などの意見を吸い上げるというような場もございますので、そういった機会もあるということだけ、ここで補足させていただきます。

それでは議題もたくさんございますので、次に進ませていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

では次に、議題 2「中野区子ども・子育て支援事業計画(第 2 期)中間の見直し」について、事務局からご説明をお願いいたします。

**事務局(子ども政策担当課長)**

《資料2-1について説明》

**寺田会長**

はい、ありがとうございました。

ただいまの議題について、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは次に、資料2-2「検討用基礎資料」について事務局から説明をお願いいたします。

**事務局(子ども・教育政策課主査)**

《資料2-2について説明》

**寺田会長**

ありがとうございました。ただいまの説明について、ご意見、ご質問等ございますか。

上村委員お願いいたします。

**上村委員**

ここに出ていないことの項目について、数字があるかないかだけ教えていただきたいと思っています。引きこもりと、あとヤングケアラーについての調査とか何か数字はお持ちでしょうか。

**事務局(子ども政策担当課長)**

引きこもりやヤングケアラーについて、中野区の現状の調査は、これまで行っていませんので、国等が行った統計から数字的には掴んでいくしかないというのが現状です。

**寺田会長**

ほかにいかがでしょうか。

**事務局(子ども政策担当課長)**

今、様々なデータを示させていただいて、かなり分量が多いので、なかなか個別に質問しにくいところがあるのかなと思っていますが、今後計画を検討していく中で、本日は様々な意見をいただいて、参考にしたいと考えております。印象に残った点とか、重要だと思う点とか、このデータ関係なしに皆さんの活動の中で感じている子育て環境について、こういったところが課題だとか、こういうところが大事だと考えてるといったことをご意見いただければ、今後の検討の参考にさせていただくので、助かるなと思っています。ご発言の方、よろしく願いいたします。

**寺田会長**

はい、阿部委員お願いします。

**阿部委員**

私、あまり中野のことを知らない中でお伺いしたいと思ったんですが、例えば中野区の子ど

もと子育て家庭の実態調査、これとほぼ同じ項目で他の都内の市区町村でもやらせていただいております、数値等も比べたりする中でやはり気になったのが、公園ですとかそういった公共の施設の満足度が低かったり、そこで過ごす子どもが過去に比べてやはり少し少ない気がいたします。と同時に、商店街のショッピングモールというのがすごく多いと。他に比べてということですが、場所柄そういったことがあるのかなと思いますけれども、そのような認識でよろしいでしょうか。もう一つが、一番最初なのですが、合計特殊出生率。これは日本平均に比べましても、東京平均に比べましても大分中野区は低いですね。スライド3で見ますと、平成29年からまたさらに落ちているという状況がありまして、上の新宿区も同じような動向を見せておりますので、例えば家賃等が上がって、子育て世帯があまり転入しにくくなったですとか、そのようなはっきりとした要因とは言えないにしてもその感触みたいなものがあれば、ぜひ教えていただきたいと思います。

#### 寺田会長

はい、青木課長お願いします。

#### 事務局(子ども政策担当課長)

まず1つ目の公園の環境の件につきましては、一番データとしてわかりやすいと思うのは21枚目のスライドになりまして、東京都が毎年やっている公園調書から作成したもので、23区内の公園の面積を比較したものになります。棒グラフが都市公園の面積の合計です。折れ線のところが区民1人当たりには割り返したものとなっております、これ見ていただくと、中野区と豊島区が突出して低いと。公園の数はかなりたくさんあるのですが、1個1個はやはり小さい住宅街にある公園が大部分でして、まとまりのある大きな公園というのが少ないというのが中野区の弱みなのかなというふうに考えてます。近年、国家公務員宿舎の跡地等に大規模な防災公園をつくるということもやってきてはいるのですが、他区は都立の大きな公園を大体保有してるのですけれども、中野というのは都立の大きな公園がないというのが大きなところで、割り返すところといった状況になっているというのが現状でございます。

2つめのショッピングモールですが、22ページ目のスライドで見えていきますと、確かに小学生については2割強が何らかの形で過ごしている割合があるということですね。要因については分析しきれてないところはあるのですが、駅前に関しては中野ブロードウェイというような大きな商業施設があるといったことも、もしかしたら要因かなとは思っております。最後に、合計特殊出生率の関係なのですが、よくご質問いただくところなのですけれども、こういった要因で上がっているか下がっているかというのは難しいところがあります。3ページのスライド

見ていただくと、近隣区についても同様に載せてるのですけれど、やはり傾向としては同じ傾向をたどっておりまして、よく言われているのは親になる年代が多かったり少なかったりというところも影響しているのではないかなというふうに考えております。

#### 阿部委員

ありがとうございます。ちなみに、日本全体では合計特殊出生率は上がっておりますので、やはり都市部の問題なのかなと思います。

#### 寺田委員

ほかにいかがでしょうか。ご意見ございませんか。

萩原委員お願いします。

#### 萩原委員

この資料を見ての私の感想みたいなものなのですが、76 ページから 80 ページにかけてのアンケートの相関関係をいろいろマッピングした共起ネットワークを見ると、面白いなと思いました。先ほど話題になった公園のことですが、公園の数は多いけれど、場所、多分広さが足りないとかそういったことが前半で出てきていて、そのことが子どもたちの言葉にも出ているなあというのがこの共起ネットワークの分析を見ると浮かび上がってくる気がしました。例えば 76 ページ、黄色い丸がいっぱいあるのですが、「ショッピングモール」、「イオン」、「大型ショッピングセンター」、ここは子どもたちが過ごしたいという場所として挙げられていて、その下のオレンジのところは、公園なんですね。この丸の大きさからいうと多分公園という、子どもたちにとっては重要な居場所の一つであることがわかります。これは私も他区で、1500 人の小学校の高学年から中学生にアンケートを取ったんですね。そうしたら、やはり公園は3番目に過ごす場所として重要な居場所なんですね。ボール遊びもしたい、でもルールが厳しくてボール遊びができない。もっと自由に遊びたい。でも、近所の大人から叱られてしまうという声がすごく多かったんです。おそらくここには、そういったことも隠れてるかもしれない。狭くて住宅街にある公園ほど遊びが制限されてしまう。なので、子どもたちの声としては、76 ページに行くと青い丸でもう一つ大きな円で出ていますよね。「場所」とか「遊べる」とか「ボール」というのも出てきましたし、「自然」というのも出てきましたし、「運動スペース」も出てきていますよね。このあたりと公園というのは結構相関関係があるのではないかなと思います。あと、多分雨でも遊べる場所ということで「ショッピングモール」とか「室内」という言葉も出てきているのではないかなというふうに見ました。あと、78ページの「何をしているときが一番楽しいか」を見ていても、やはり公園で子どもたちが遊んだりとか友達と話すというの

は、とりわけ中学生は多いんですね。なので、そういったスペースが欲しいんだろうなというように、そういうのがあれば満足度が高いんだろうなというのが見て取れます。次の 79 ページ、区への要望で小学生たちを見ると、公園のところに「トイレ」とありまして、これは子どもたちの不満の声と一致しています。とりわけ小学生はトイレが綺麗という要望は、私がとったアンケートでも出ました。綺麗なトイレのある公園をわりとよく使うという傾向も出てきていて、やはりそれは安心なんですね。小さい子にとってはトイレは不審者が出やすいという不安材料になっていて、薄暗かったりとかして、人が隠れやすいので。だからトイレが綺麗で安心できる場所になっているところは使いやすい場所になっていたりします。あと、中学生の区への要望も公園が出ているので、そういう意味では子どもたちにとっては、おそらくショッピングモールのような室内、屋内型もそうなのですが、安心して外で思い切り体を動かしたいという要望は、これを見てると、浮かび上がってくるなというふうに見てて感じました。

#### 寺田会長

ありがとうございました。

ほかにはいかがでしょうか。和泉委員お願いします。

#### 和泉副会長

今、公園の話が続いていましたので、これまでの経緯も含めて、今中野区が抱えている課題は何だろうかという話をさせていただきたいと思います。実は中野区の基本構想基本計画を作るための審議会の子育て・教育の部会でも、公園の拡充というのは区民の方々の大きな声としてありました。今現状、公園がどうなっているのかというときに、数が足りないとか広さとかという話はあるのですが、4期までのこの子ども・子育て会議で私立保育園の園長会の代表の方が常に訴えられてきたことというのは、今、園庭のない保育園というのが多数あります。園庭のない保育園というのは近所の公園を園庭代わりに使うということで、それがみんな交代交代で、バッティングしたらうちは後にしようかみたいな、順番待ちみたいなことも起こったり、過密状態に日中はあると。そこにご家庭で子育てされている親子がやってきて、ちょっと混んでいるので遠慮しようかとなってみたり、あるいは一緒に遊んでもらえたということもあるのですが、そのような状況というのが生まれていて、それがやはり公園の不足感にも繋がっている部分ではないかなというふうに思います。また、今回ご提供いただいた資料の中で、転入者、転出者の状況というのが 29 ページ目のところにございます。0-4歳が減少するんですね。子どもが生まれてくるんだけど、中野区から転出してしまうという方が超過する。よくよく見ていくと、10-14歳のところで少し回復するのですが、実際、小

学校の在籍数を見ていきますと、小学校高学年になるに従ってだんだん抜けていきます。そういった子育てする中で、中野からどんどん離れてしまうご家庭があるというのが現状としてあって、それはいろいろあると思うのです。住宅事情ももちろんあると思います。子どもが大きくなって子ども部屋が欲しくなったけれど手狭だとかですね。そういったこともあるので、なかなかここは何ともしがたい部分というのがあります。他の自治体のケースを見ていても、例えばタワーマンションで、家族向けだというところは本当に子育て世代がどんどん転入してくるんですね。新しい開発が進んでいる地域だとそういうことがあり得るわけです。中野区の現状からするとまだそこまでではないけれども、保育所の待機児童の問題には多少影響する程度にはあるというところで、少し複雑な問題を抱えています。さらに、今回学童クラブの待機児童の状況というのを32ページでお示しいただいたんですが、特に小学校、中学校のことというのが、4期までの子ども・子育て会議では少し手薄になっていた面があります。0歳から就学前までの子たちのどういう支えが必要かというところにやはり議論が集中しがちで、学童クラブであるとか、キッズ・プラザであるとかあるいは児童館であるとか、こういったものに時間があまり割かれてこなかったという経緯があります。小学校の中にキッズ・プラザを併設するというやり方とですとか、児童館の統廃合の話ですとか、区の方針とそれが実際認められるかどうかということに関して、いろいろと課題はあるわけなのですが、学童クラブで全員を受け入れることができないのであれば、キッズ・プラザという形で代替の用意をするというような区の施策について、もう少し詳しく触れていただくといいのかなというふうに思いました。最後のところをもしご回答いただけるようでしたらお願いします。

#### 子ども家庭支援担当部長

和泉委員ありがとうございます。今、統合新校で改築をした学校が何校か大きいところがございます。そこはキッズ・プラザと学童クラブ併設で、学童クラブの定員は100名になっています。新しいですし、非常に人気が高いです。キッズ・プラザは18時までいて無料です。これで足りるお子さんもいらっしゃるのしょうけれど、やはり保育園の続きのイメージで学童クラブ、保育園に通わせている親はどうしても次は学童クラブという発想になってしまうので、それで待機児という形で出ていたりしています。待機児なのですが、キッズ・プラザでお過ごしされていて順番が来たときに学童クラブどうですかとお声掛けをすると、その段階で、やっぱりいいですとお断りされるケースもあって、そこでいっぺんに5人ぐらい待機児が減るとかいうことはありがちです。ただ、ニーズは非常に高まっています。やはり共働きの世帯が中野区内で多くいらっしゃるのかなというのを実感しているところでして、今まさに応募を受け

付けてこれから選考に入るのですが、昨年度よりも多分 200 件くらい多く来ています。かなり総数としては来ておりますが、おそらくキッズ・プラザでお過ごしになられて十分なお子さんもいらっしゃるのではないかと思いますので、潜在的なところの学童クラブ需要をこれからどう検証していくかというのは、なかなか難しいところだと思っております。委員の皆様も、もしよろしければお近くの学校のキッズ・プラザ、学童クラブを覗いていただきますと、子どもたちの様子も見ていただけて、とてもいいかなと思います。

#### 寺田会長

はい。小田部長ありがとうございました。

実際に、児童館であるとか、キッズ・プラザは、確かに今までの4期の中で話す機会があってもよかったのかなというふうに、私も同じように感じています。そこで民生委員の方とか、地域に密着して区民の代表として今回3人の委員の方もご参加いただいていますけれど、何か日頃感じていらっしゃることでいいですし、ぜひ積極的にご意見をいただけたらというふうに思います。

よろしいですか。では、大橋委員お願いします。

#### 大橋委員

学童クラブは私自身も子どもが利用させてもらいました。ただ、やはり3年生までいられるはずが、いられないんですね。どうしても低学年の子どもたちの方が希望する人数が多くて、早いと2年生で、もう学童クラブは卒業してくださいといいますが、出てくださいというふうに言われてしまう。私も含めて2年生の子ども、もしくは3年生のお子さんを抱える保護者の方からもお願いしたい。やはり学校が終わって学童クラブに行くことができ、夕方のおやつも出させていただきますし、学童クラブの先生とノートの交換も保育園の延長でできたところでは大変心強かったので、もう少しそのあたりも改善していただきたいと思っております。

#### 寺田会長

ありがとうございました。

ほかにご意見ございますか。よろしいでしょうか。丸茂委員お願いします。

#### 丸茂委員

今、キッズ・プラザに私の子どもも利用させていただいています。子どもが今2年生になっているのですが、1年生の頃は学校の授業が終わって、遊び場があるというのがすごく楽しくて、嫌みではなく現実としていうと、今、児童館がないエリアに住んでいるということもあって、キ

ッズ・プラザをすごく重宝させていただいてました。ところが、行ってみるとすごい子どもの数なんですね。学童クラブは定員が決まっていると思うのですが、キッズ・プラザは自由利用になっていますので、本当にたくさん子どもたちが利用しています。先生のほうがそれで増えているのか、増えていないのか、そこまでわからないのですが、多ければ多いほどトラブルもあるんだろうなという感じはしています。ほっとできる場所になっているかどうかというのは気がかりです。今2年生になりまして、キッズ・プラザに行かなくなってしまったんですね。学童クラブに契約していませんので、キッズ・プラザに行ってもらっている間に私は仕事ができるという状況があるのですが、キッズ・プラザに行かない理由を、今、子どもの方から調査中ですが、はっきりわからないところです。というのが現状です。

#### 寺田会長

現状をご紹介いただきありがとうございました。

それでは、他にも議題がございますので、何かご質問があれば、また後でお受けするという事で、資料2-3「第5期中野区子ども・子育て会議スケジュール」について、事務局からご説明をお願いいたします。

#### 事務局(子ども政策担当課長)

《資料2-3について説明》

#### 寺田会長

ありがとうございました。

ただいまの説明について、ご意見、ご質問等ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、本日の議題は以上で終了となります。

次に、その他がございますけれども何かございますか。青木課長お願いいたします。

#### 事務局(子ども政策担当課長)

それでは、参考資料として本日の会議にお付けしています資料のご紹介をしたいと思います。まず、今回新しく委員になられた方につきましては、中野区子ども・子育て支援事業計画(第2期)というピンク色の冊子をお配りさせていただいております。それと、中野区基本計画、これが、9月に策定された区の総合的な計画のうち、子ども・子育てに関する部分を抜粋したのものになります。こういったものも踏まえながら、新しい計画を作っていくという形になります。それと、中野区のフェイスブックページのご案内という、ホームページをプリントしたものもつけさせていただいております。区で様々な取組をしております、その取組を、SNSを使いまして情報発信しているというところでございます。子ども・子育てに関する記事も頻繁に掲載

されておりまして、区の今の取組を知っていただく一つのツールになるのかなというふうを考えておりますので、可能でありましたらこのQRコードをつけてございますので、こちらからフェイスブックページの方もご覧いただければ幸いです。これ以外にも、今区で動いている新しい事業とか、取組についてメール等で情報提供していきたいと考えております。

#### 寺田会長

次に、細野課長より児童館での一時預かり事業のご案内があります。よろしくお願いいたします。

#### 事務局(育成活動推進課長)

資料を置かせていただきました。児童館で一時預かり事業を実施しますというご案内をさせていただきます。資料をご覧いただければと存じます。こちら今年度、一時的な用事的时候可以という、一時預かり事業を実施期間は3ヶ月ほどでございますが、やらせていただいております。病院に行かれたりお仕事だったり、ランチ会や病院など、お母さん、お父さんがリフレッシュするためにご利用いただければというふうに考えています。ご利用いただける方は、中野区内にお住まいで満1歳から就学前のお子さんです。試行的にやらせていただいて、実施場所は1ヶ所だけで、南中野児童館でやらせていただいております。お預かりできる曜日と時間については、現在、木曜日と土曜日に行っております。毎回4人分の枠を設けておりまして、事前の申し込みが3人、当日枠というのは1人あります。予約はできるだけいただきたいところでございますが、急な利用もできるように用意はしてございますので、ぜひご利用いただければと思います。なおご利用につきましては、事前の登録をいただくことになっておりまして、その上で当日空きがあれば利用可能でございます。ご利用の流れ等もご覧いただきまして、ぜひご活用いただければと思ひまして、ご案内させていただきました。お時間ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

#### 寺田会長

それでは、中野社協の上村事務局長より、中野つながるフードパントリーの中間報告がございます。よろしくお願いいたします。

#### 上村委員

貴重なお時間ありがとうございます。昨年度、2回子ども向けのパントリーがありまして、本年度5回、5地域で行ってきております。鷺宮、東部とありまして、11月13日に鍋横の区民活動センターで、町会や民生委員さん、または子育てボランティアのご協力で、100世帯の方に食料のお届けをいたしました。また、生活相談、就労相談、そして、今回地元の診療所の先生が

健康相談を行うということで、いろいろな区の方々のご協力もいただきまして実施いたしました。裏面に、受け取った方の声と、写真を掲載しております。あと、2枚目は鷺宮の2回目なのですが、鷺宮応援団という組織ができて、いろいろなことに力をいただいております、特に鷺宮の駅の西に公社西住宅という団地があるのですが、650世帯のうち25%、166世帯が外国人世帯ということで、学校、またいろいろな自治会の方もちょっと戸惑っています。特に日本語教育が遅れているということで、荻窪にエベレストというインターナショナルのネパール人を対象にしたスクールがあるんですけども、そこに行けない方は地元へということで、特にこの地域にすごくネパールの世帯が集約されています。国際交流協会の日本語教室も交通費がかかって、なかなか中野駅まで行けないというので、何とか鷺宮に居場所と日本語学習ができる場を作ろうではないかということで、2年半くらいかかって、ここまで立ち上げました。また2月、3月からは、日本語学習に入るのですけれども、その前に12月4日に、この西住宅の中で、子ども服のお渡し会というのをやりました。小P連の方や、たくさん地域の方から、こんなに子ども服見たことがないというくらい、70センチから160センチまで、選り取り見取りで、たくさんネパールの子が喜んで、持っていくということがありまして、紹介をさせていただきました。英語で団地の放送設備でアナウンスしたら、かなり飛び込みで来まして、日本の乳幼児とネパールの子などがたくさん来ていました。あと食料品もお渡しして帰っていただいたり、また、就労相談、生活相談も行いました。この5地域のうち、3月には南中野地域区民活動センターで、3月は沼袋地域で今年度は行う予定でございます。以上でございます。

#### 寺田会長

ありがとうございました。すみません、鷺宮は650世帯のうち外国人は何パーセントでしたか。

#### 上村委員

166世帯なので25%、4分の1です。

#### 寺田会長

ありがとうございます。

その他ございますでしょうか。

先ほどすみません、加賀谷委員が手を挙げてらしていたそうで、気付かなくて申し訳ございませんでした。どうぞお願いいたします。

#### 加賀谷委員

保育園に勤めているので、率直な意見というか、今までこうなんだっていうことをこのグラ

フを見て思ったのですけれども、スライドの31枚目のところで、例えば平成29年だったら、待機児童が375人いて、保育園とかなかなか足りなかったんだなと。でも、令和3年になって25人という、本当に待機児童も少なくなってよかったなあとは思いますが、代わりに、保育園の方が多くなってしまって、これからどうなっていくんだろうなというのが、率直に感じたところです。今、区立の保育園もありますけれども、区立の保育園は区の先生たちがいらして、保護者の方とか子どもたちの様子とか率直にわかってくださる先生方がいらして、区のほうにもわりと早くいろいろな情報がいくんだろうなというふうに思っていて、そこはすごく大切なところですし、私たち私立園もそれぞれ、いろいろな保育を行っているので、それはそれで大切なところだと自分たちで思っているのですけれども、これからどういうふうになっていくのかなというのがちょっと気になったところでした。感想です。

#### 寺田会長

今のご意見で何かございますでしょうか。

#### 事務局(保育園・幼稚園課長)

保育園・幼稚園課長でございます。確かにこちらのグラフを見ると、需要率以上に整備率というものが上がってきて、その成果として、待機児童が減ってきたというところになります。委員が心配されている、今後保育園はどうなってしまうのかというところで、区立保育園が今、直営としては10園あるところになります。今区の考えといたしましては、これからはどのような保育需要になっていくのかということがまだ見えておりませんので、まずそのところをしっかりと精緻に出して行って、その先の施策というものを検討していくということになるわけですが、需要が本当に下がってしまうような局面が出てきたときには、区立保育園につきましても、一定の数を減らしていくというところは検討せざるをえないというところになります。定員について一定程度減らしていくということを考えながら、需要と供給のバランスを取っていくというところが必要なのかなというところになります。私立保育園につきましては、これまで0歳児の空きというのはほとんどなかったのが今年度当初は80名程度の空きが出たというところが大きな特徴でした。今はかなり埋まっているんですね。年度当初は空いているのですけれど、そのあと、おそらく育休などで入っていなかった方が、入りやすくなっているものですから、年度後半になってくるとほとんど数人程度しか空いてないと、そういう状況で、同じ年度の中でも後半になっていくと埋まっていくという状況にあります。ただ、年度前半が、少し空きが出てるとというのが1つ大きな課題かなというふうにはとらえているところです。待機児童がないかということ、まだいるんですね。地域的なところを見ると、まだ待機児童がい

て、入れないというような声もいただいているところですので、バランスをとりながら今検討していくということで、まさにそのことについても、ご検討いただきたいというふうに考えてるところです。

#### 寺田会長

よろしいでしょうか。ご回答いただきましてありがとうございます。

はい、大門委員お願いします。

#### 大門委員

今のお話の付属なのですけれども、私どもは小規模保育園でございますので、今年度もう4月から、今現在12月までずっと定員割れしております。0歳児に関してはとても需要があつて、問い合わせもたくさん来ているのですけれども、中野区の方にご相談しても、その人数を変えられないということで、もう今現在4名の定員割れできております。認可保育園さんの方に2歳児くらいになると移る子どもとても多いんですね。お兄ちゃんがいるからそちらに移ったり。お迎えが大変です。なので、2歳児をうちは8名枠なのですけれども、0歳児の問い合わせがたくさんあるということであれば、その人数の変更とかも柔軟な形で、これから少し考えていただけないかなと思うところがとてもあります。先ほどの公園のことなのですけれども、うちは園庭を持っておりませんので、やはり地域の公園の方に行かせていただいています。毎日1日2回行っております。そうしますと、遊具に関しましても、すべり台をさせようとか、いろいろなことをさせようと思うと3歳以上というふうになっているんですね。昨年度ですけど、2歳児さんを保育士が2名ついてすべり台をさせたときに、たまたまちょっと勢いがつき過ぎて、手を擦りむいたこともありまして、そうしましたら外国の保護者さんだったのですけれども、3歳児からのところをどうして遊ばせるんだと、年齢がきちっと書いてあるじゃないかということで、ご注意を受けました。ただ、周りの公園を探してみましても、3歳以下の子が使える遊具というのはとても少ないんですね。なのでちょっとその辺のところも、少し区の方で考えていただければ嬉しいかなと思います。よろしくをお願いします。

#### 事務局(保育園・幼稚園課長)

小規模保育園につきましては、今年度特に年度当初は確か60%くらいの入所率というところでした。今は70%を超えているという状況なのですけれども、上がった理由は、定員を変更した保育園があった。定員を減らした保育園がありまして、その結果分母が少なくなったものですから、入所率として上がったというところがありました。ですので、定員の柔軟な変更というふうに今おっしゃっていましたが、認可保育園につきましても、利用に応じて定員を

変更しているという事例はあります。ただ、変更をするときに、その子がその次の年度に確実に入る枠を確保するという考え方を持たないと、その年度だけで、実は翌年はないということにならないように考えなければいけませんので、そういったことも踏まえながら、定員についても考えていきたいと思っております。

**寺田会長**

それでは、本日の議題報告は以上で終了となります。

最後に、事務局から事務連絡をお願いいたします。

**事務局(子ども政策担当課長)**

次回の会議は2月2日(水)の18時または18時半からを予定しております。時間については今調整中ございまして、決まり次第ご連絡させていただきたいと思っております。事務局からは以上になります。

**寺田会長**

これで本日の会議を終了とさせていただきます。

皆様、本日はありがとうございました。良いお年をお迎えください。

ありがとうございました。

午後8時00分終了